

県内経済の動き

概況

〔10月～12月の動き〕

一部の個人消費関連項目はマイナスが続く

鉱工業生産指数（10月）は4カ月ぶりに前年同月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は2カ月連続、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）、は3カ月連続で前年同月比減少となった。新設住宅着工戸数（11月）は3カ月ぶりに前年同月比増加した。公共工事（12月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（11月:1.41倍）は前月比0.02ポイント低下した。なお、12月は企業倒産の発生は無かった。

本県経済は緩やかな回復が続いているが、10月の消費税率引き上げ以降、一部の個人消費関連項目は前年同月比マイナスが続いている。